

トルコ・アクバンクとの業務協力協定の締結について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、トルコ大手の商業銀行アクバンク（Akbank T. A. S、CEO:Hakan Binbaşgil）と、投資銀行業務及び幅広い商業銀行業務における業務協力協定（協定）を 9 月 3 日付で締結しました。同行が邦銀と業務協力協定を締結したのは今回が初めてです。

本協定は、主にトルコでの日系企業向け金融サービスでの協力を狙いとしており、具体的には、現地通貨建て送金、現地通貨建てファイナンス、トレードファイナンス、プロジェクトファイナンスなど、多彩なソリューションを提供します。

アクバンクは、総資産 800 億米ドル、国内支店数 950 拠点、従業員数 16,000 人の規模を有するトルコ最大級の民間商業銀行です。また同行は、トルコ最有力財閥のひとつであるサバンジュ（Sabancı）財閥の金融セクターとして、傘下に証券会社も保有しており、幅広く金融サービスを提供しています。

トルコの GDP 規模は昨年度 7,720 億米ドルと、欧州地域で 8 番目（世界で 18 番目）の規模であり、中東・東欧エリアにおいて、最も経済発展の進んでいる国の一つです。人口は 7,500 万人にのぼり、平均年齢 29 歳と若年人口の割合が高く、トルコの高い経済成長を支えています。また、同国は産業面では特に織物、自動車、建設資材、家電分野の輸出に強みを有するとともに、地理的特性から中東と欧州を結ぶエネルギー回廊として機能しています。

当行は、本協定を通じ、みずほグループ各社と一体となり、トルコで事業を展開するお取引先のニーズを幅広くサポートしていきます。

以 上